

ロシアから即興の風が吹いてくる

Alexey Kruglov

2020

1/17 fri.

19:00~20:00

Photo: Ekaterina Mel'nikova

Alexey Kruglov : Алексей Круглов
アレクセイ・クルグロフ

中堅のジャズ・プレーヤーとして今ロシアでもっとも活躍しているアルト・サクソ、マルチリード奏者。1979年バウロフスキー・ボサド生まれ、モスクワ育ち。7歳からピアノを学び、13歳のとき著名なブラスバンドに所属してサクソスを始めた後、クラス・センターの音楽演劇科で高度の技術とともに、即興演奏、多様性、ステージ表現といった、現在の彼の基幹部分が形成された。その間シルクロベルやチェカーシンの指導を得ている。グネーシン音大で学ぶ間、コンペ優勝を重ね、注目すべき若手としてその名が知られた。豊かなジャズ知識と演奏経験を有し、表現語法は豊かで、多分野横断傾向が強い。自己の「クルグリー・バンド」がその重要な実践手段となっている。2019年現在でリーダー作はすでに20作を超える。

堀川久子(ほりかわ ひさこ)

即興舞踊家。新潟生まれ。20年間舞踊家・田中浜との活動ののち、1998年より新潟市に活動拠点を移す。独舞を中心に、音楽家、美術家との共同作業、ワークショップなどをヨーロッパでも展開。知的障害を持つ人々とのワークショップも現在では9年目になった。各地の昔ながらの盆踊りを訪ね回っている。アートの無名性にどこまでも憧れている。

鈴木正美(すずき まさみ)

1990年、ロシアの即興演奏グループ「アルハンゲリスク」のリーダー、ウラジミール・レヅキイとの出会いがきっかけで即興演奏を模索し始める。ソロ演奏の他、ガイヴォロンスキイ、レートフ、ストリャール、プリゴフ等、音楽だけでなく、詩の朗読や舞踏との共演による即興演奏にも取り組んでいる。

福井るり(ふくい るり)

ピアニスト。富山市出身。桐朋女子高音楽科、リスト音楽院で学ぶ。ソロの他、ルドヴィート・カンタVo、江原千絵Viとの室内楽、パーカッションist松本Yao、ダンサー人形師伊藤拓次とのコラボレーション、現代作曲家、鈴木治行の新曲初演など多々。作曲、絵も描く。

鈴木良一(すずき りょういち)

1947年生まれ。新潟市出身。詩誌「野の草など」主宰。「北方文学」同人。詩集に『不思議荘のゆりかご』があるいは写植オペレーターの探字記』『あやかしの野郎』等七冊。日本現代詩人会会員。今回は私と新潟の歴史を網羅した作品の始まりの一行を読みます。



Photo: Rene Jakobson

申し込み

電話・FAX 025-222-2676

E-mail sakyukan@bz03.plala.or.jp

*E-mail、FAXでお申し込みの方は連絡先(電話番号)、人数を併記して下さい。

申し込み開始 12月4日

出演

アレクセイ・クルグロフ(アルトサクソ)

堀川久子(ダンス)

鈴木正美(ソプラノサクソ、クラリネットほか)

福井るり(オルガン)

鈴木良一(朗読)

参加料

一般 1,500円

学生・中高生 1,000円

定員 30名

会場 砂丘館 居間・座敷・茶の間

主催 砂丘館

協力 新潟大学

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax. 025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。
●新潟駅からのバス:浜浦町線C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

新潟あられ株式会社

NSGグループ

ISHIKAWA

新潟ビルサービス

丸屋本店

藤田金属

WIND

郷土の文化に親しむ会